平成24年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月11日

上場会社名　オプテックス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　6914　URL　http://www.optex.co.jp
代表者　(役職名) 取締役会長兼代表取締役社長　(氏名) 小林　徹
問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼執行役員 管理本部長　(氏名) 東　晃　TEL 077-579-8000

四半期報告書提出予定日　平成24年5月14日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年12月期第1四半期の連結業績(平成24年1月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年12月期第1四半期	5,075	7.3	238	△50.2	376	△28.8	178	△41.5
23年12月期第1四半期	4,731	20.7	478	53.7	528	64.6	305	59.9

(注)包括利益　24年12月期第1四半期　683百万円　(38.0%)　23年12月期第1四半期　495百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年12月期第1四半期	10.81	10.81
23年12月期第1四半期	18.47	18.46

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年12月期第1四半期	23,253	18,746	75.5
23年12月期	21,889	18,304	78.3

(参考) 自己資本　24年12月期第1四半期　17,554百万円　23年12月期　17,143百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年12月期	―	15.00	―	15.00	30.00
24年12月期	―				
24年12月期(予想)		15.00	―	15.00	30.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成24年12月期の連結業績予想(平成24年1月1日～平成24年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	10,900	16.9	800	△14.1	850	△19.9	520	△10.9	31.42
通期	23,000	24.3	2,200	31.2	2,300	25.6	1,400	35.4	84.58

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年12月期1Q	16,984,596 株	23年12月期	16,984,596 株
② 期末自己株式数	24年12月期1Q	433,107 株	23年12月期	433,022 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年12月期1Q	16,551,517 株	23年12月期1Q	16,551,865 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき算出したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって異なる結果となる場合があります。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 3
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
（４）追加情報 …… 3
３．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第１四半期連結累計期間 …… 7
（３）継続企業の前提に関する注記 …… 8
（４）セグメント情報 …… 8
（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 8

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第１四半期連結累計期間の経済情勢は、国内においては原材料の高騰、デフレ、エネルギー供給の不安など依然として先行きの懸念が強い中、個人消費がプラスに転じるなど、景気の停滞は徐々に持ち直してまいりました。米国では民間設備投資や輸出の伸び等により、緩やかな回復が続く一方で、欧州では南欧諸国での財政赤字削減の遅れから債務問題への不安が再燃し財政危機への懸念が続いております。

当社グループをとり巻く環境におきましては、米ドルや欧州通貨に対しては依然円高水準が続いており、当第１四半期連結累計期間の平均為替レートは、対米ドルでは前年同期の82円に比べ３円（3.7%）円高の79円、対ポンドでは同132円に比べ７円（5.6%）円高の125円、対ユーロでは同113円に比べ９円（7.6%）円高の104円となりました。

欧州景気の回復の遅れ、米国や中国の景気減速への懸念などから輸出は全体として厳しい状況が続きましたが、国内では内需をけん引役として企業の設備投資が徐々に回復してきており、需要は底堅く推移いたしました。

このような状況の下、当社グループは顧客サービスの更なる向上を目指し、オランダアムステルダムにハブ倉庫を新たに開設し本年１月に稼動を開始いたしました。これに伴い、欧州主要代理店が現地在庫の調整を図り、一時的に受注の減少が生じたものの、当第１四半期連結会計期間より当社グループに加わったRAYTEC LIMITED（連結子会社）の売上高が加算されたことにより、売上高は50億75百万円と前年同期に比べ7.3%の増収となりました。一方、利益面につきましては、販売地域や製品の構成比率が変化したことにより原価率が上昇、合わせてグループ各社の販管費が増加したことにより、営業利益は２億38百万円（前年同期比50.2%減）、経常利益は３億76百万円（前年同期比28.8%減）、四半期純利益は１億78百万円（前年同期比41.5%減）となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

① センシング事業

当社グループの主力事業であるセンシング事業は、売上高35億36百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益１億98百万円（前年同期比34.7%減）となりました。

防犯関連につきましては、売上高24億84百万円（前年同期比19.1%増）となりました。海外におきましては、RAYTEC LIMITEDの売上高が加算されたことや、世界規模で高いシェアを有する屋外警戒用防犯センサの販売台数が引き続き堅調に推移し売上に寄与しました。国内におきましては、警備会社向け販売実績が回復し前年実績を上回りました。

自動ドア関連につきましては、引き続き国内市場での自動ドア設置台数が堅調に推移、海外におきましては、欧米の大手自動ドアメーカーでのセンサシェアを伸ばし、売上高９億14百万円（前年同期比13.0%増）となりました。

② ＦＡ事業

ＦＡ事業は、海外におきましては、中国における金融引締めや欧州での金融不安等の影響を受け、設備投資需要は減少しました。国内におきましても自動車業界を中心に一部で回復基調にあるものの、半導体、電子部品、液晶関連などの設備投資の抑制を受け、需要は落ち込みました。その結果、売上高９億56百万円（前年同期比19.5%減）、営業利益45百万円（前年同期比68.2%減）となりました。

③ 生産受託事業

生産受託事業は、受託製品数量が増加したことにより増収となり、売上高は２億23百万円（前年同期比72.6%増）となりました。しかしながら、営業利益につきましては、製造機能強化への先行投資が増加したことにより、営業損失11百万円（前年同期は営業損失30百万円）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第１四半期連結会計期間末における資産合計は232億53百万円となり、前連結会計年度末と比べ13億64百万円増加しました。これは主にのれんの増加等により無形固定資産が８億50百万円、受取手形及び売掛金の増加等により流動資産が３億71百万円それぞれ増加したことによるものであります。

(負債)

当第１四半期連結会計期間末における負債合計は45億７百万円となり、前連結会計年度末と比べ９億23百万円増加しました。これは主に支払手形及び買掛金の増加等により流動負債が９億11百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第１四半期連結会計期間末における純資産合計は187億46百万円となり、前連結会計年度末と比べ４億41百万円増加しました。これは配当金の支払等により利益剰余金が69百万円減少したものの、為替換算調整勘定等のその他の包括利益累計額が４億80百万円増加したことによるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

当連結会計年度の業績見通しについては、平成24年２月13日に公表いたしました予想から変更はありません。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用）

当第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正より、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号　平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号　平成21年12月４日）を適用しております。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,523	6,295
受取手形及び売掛金	3,803	4,569
有価証券	1,078	630
商品及び製品	1,721	1,831
仕掛品	82	71
原材料及び貯蔵品	877	1,053
繰延税金資産	408	425
その他	591	580
貸倒引当金	△20	△20
流動資産合計	15,066	15,438
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	1,191	1,174
機械装置及び運搬具（純額）	205	317
工具、器具及び備品（純額）	307	326
土地	1,203	1,203
建設仮勘定	113	22
有形固定資産合計	3,022	3,043
無形固定資産		
のれん	102	937
その他	464	480
無形固定資産合計	567	1,417
投資その他の資産		
投資有価証券	2,192	2,341
繰延税金資産	727	693
その他	361	367
貸倒引当金	△48	△48
投資その他の資産合計	3,232	3,354
固定資産合計	6,822	7,815
資産合計	21,889	23,253

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年12月31日）	当第１四半期連結会計期間 （平成24年３月31日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	788	1,330
短期借入金	194	482
未払法人税等	372	234
繰延税金負債	4	8
賞与引当金	68	196
役員賞与引当金	6	1
その他	817	909
流動負債合計	2,252	3,163
固定負債		
繰延税金負債	64	74
再評価に係る繰延税金負債	6	6
退職給付引当金	794	796
役員退職慰労引当金	450	449
その他	16	15
固定負債合計	1,331	1,343
負債合計	3,584	4,507
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,798	2,798
資本剰余金	3,653	3,653
利益剰余金	12,855	12,786
自己株式	△538	△538
株主資本合計	18,769	18,699
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△67	△12
土地再評価差額金	11	11
為替換算調整勘定	△1,569	△1,144
その他の包括利益累計額合計	△1,625	△1,145
新株予約権	3	5
少数株主持分	1,157	1,186
純資産合計	18,304	18,746
負債純資産合計	21,889	23,253

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
売上高	4,731	5,075
売上原価	2,318	2,645
売上総利益	2,413	2,429
販売費及び一般管理費	1,934	2,191
営業利益	478	238
営業外収益		
受取利息	13	14
持分法による投資利益	8	－
為替差益	21	121
受取賃貸料	4	4
その他	14	6
営業外収益合計	63	146
営業外費用		
支払利息	0	0
持分法による投資損失	－	0
投資事業組合運用損	5	1
賃貸費用	4	4
その他	2	1
営業外費用合計	13	8
経常利益	528	376
特別利益		
固定資産売却益	1	－
持分変動利益	0	0
投資有価証券売却益	0	4
貸倒引当金戻入額	0	－
特別利益合計	2	4
特別損失		
固定資産除却損	1	0
特別損失合計	1	0
税金等調整前四半期純利益	529	380
法人税、住民税及び事業税	258	190
法人税等調整額	△54	△4
法人税等合計	203	185
少数株主損益調整前四半期純利益	325	194
少数株主利益	19	15
四半期純利益	305	178

（四半期連結包括利益計算書）
（第１四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第１四半期連結累計期間 （自　平成23年１月１日 至　平成23年３月31日）	当第１四半期連結累計期間 （自　平成24年１月１日 至　平成24年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	325	194
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	61
為替換算調整勘定	161	427
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
その他の包括利益合計	169	489
四半期包括利益	495	683
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	472	659
少数株主に係る四半期包括利益	22	24

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）セグメント情報

Ⅰ　前第１四半期連結累計期間（自　平成23年１月１日　至　平成23年３月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,027	1,188	129	4,345	386	4,731	－	4,731
セグメント間の内部売上高又は振替高	6	－	570	576	5	581	△581	－
計	3,033	1,188	699	4,921	391	5,313	△581	4,731
セグメント利益又は損失（△）	304	144	△30	417	54	471	7	478

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額７百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第１四半期連結累計期間（自　平成24年１月１日　至　平成24年３月31日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	センシング事業	ＦＡ事業	生産受託事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	3,536	956	223	4,717	357	5,075	－	5,075
セグメント間の内部売上高又は振替高	0	－	563	563	18	581	△581	－
計	3,537	956	786	5,281	375	5,657	△581	5,075
セグメント利益又は損失（△）	198	45	△11	232	△0	232	5	238

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業であり、客数情報システム・電子部品の開発及び販売、スポーツクラブの運営等の事業を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額５百万円は、セグメント間取引消去によるものであります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「センシング事業」セグメントにおいて、RAYTEC LIMITEDの全株式を取得し連結子会社といたしました。なお、当該事象によるのれんの増加額は、当第１四半期連結累計期間においては820百万円であります。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。